

最近の若い主婦の考える“内助の功”とは「家事をすること」

停滞する景気や厳しい雇用環境を反映してか
夫の「健康管理」や「愚痴や悩みを聞いてあげる」こと
なども大幅にポイントアップ

象印マホービン株式会社では、首都圏の主婦300人（働いている夫を持つ主婦）を対象に、「内助の功」に関する調査を実施しました。

このテーマによる調査は、1987（昭和62）年に一度実施しており、17年後に同じ質問項目で再度調査することによりこの間の主婦の意識の変化を探ってみようと企画したものです。

このほど調査結果がまとまりましたのでご報告いたします。

●主な調査結果

1. 17年前、ほとんどの主婦が知っていた「内助の功」、
最近の主婦の6.7%、20代では22.5%が「内助の功」という言葉自体を知らない
2. 「内助の功」をまったく意識していない主婦が“10人に1人”から“4人に1人”に増加
3. 「山内一豊の妻」の話を知らない主婦が33.3%（前回7.3%）
4. 「内助の功」という言葉が「好き」27.7%（前回39%）、「嫌い」18.0%（前回13.7%）
5. 「内助の功」を“妻として当然とする「肯定派」は50%から34%に、否定派は33.3%に倍増
6. 最近の主婦が考える「内助の功」は「家事をやっていること」。また停滞する景気や、雇用を取り巻く厳しい諸環境もあってか「夫の健康管理」、「夫の愚痴、悩みの聞き役」も大幅増
7. 夫は妻の「内助の功」に感謝していると思う24.7%、「内助の功などと思っていない」21.7%

前回はほとんどの主婦が知っていた「内助の功」という言葉

20代の主婦の22. 5%(全体では6. 7%)が「内助の功」を知らない

「内助の功」という言葉を知っていますかと聞いたところ、前回の調査ではおひとりを除いてほとんどの方(99.7%)が「知っている」と答えていますが、今回の調査では「知っている」が93. 0%と、20人(6.7%)の主婦が「知らない」と答えています。

特に、20代の主婦では「知らない」が5人中1人(22. 5%)となっています。、

【内助】

内部から与える援助。特に、妻が家庭内において夫の働きを助けること。「 — の功」

【功】

手柄。特に成功を収めた立派な仕事。

	今 回		前 回(1987 年)	
	回答数	%	回答数	%
知っている	279	93. 0%	299	99. 7%
知らない	20	6. 7%	1	0. 3%
無回答	1	0. 3%	0	0. 0%

共に n=300

	20代		30代		40代		50代		60代以上	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回
知っている	75.0%	100.0%	93.3%	100.0%	100.0%	99.1%	97.2%	100.0%	100.0%	100.0%
知らない	22.5%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.9%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	n=40	n=20	n=150	n=123	n=60	n=107	n=36	n=37	n=14	n=13

前回は10人に1人だった「内助の功」をまったく意識していない主婦

最近の主婦の4人に1人が「内助の功」をまったく意識していない

「内助の功」を普段意識しているか聞いたところ、「まったく意識していない」完全否定派が前回調査の11.0%から26.0%に大幅に増えており、特に20代の主婦では45%に上っています。

「まったく意識しない」「あまり意識していない」を合わせ、64.3%の主婦が「内助の功」を普段意識していないと答えています。しかし、「いつも意識している」「時々意識している」回答は17年前と変わらず約36%程度。

Q.「内助の功」を普段意識していますか

	今 回		前 回(1987 年)	
	回答数	%	回答数	%
いつも意識している	17	5.7%	17	5.7%
時々意識している	90	30.0%	91	30.3%
あまり意識していない	115	38.3%	158	52.7%
まったく意識していない	78	26.0%	33	11.0%
無回答	0	0.0%	1	0.3%

共に n=300

クロス集計(年代別、就業別)

	20代		30代		40代		50代		60代以上		専業主婦		有職主婦 (パートを含む)	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回
いつも意識している	2.5%	0.0%	2.7%	4.1%	10.0%	6.5%	8.3%	5.4%	21.4%	23.1%	5.5%	6.7%	5.8%	3.4%
時々意識している	17.5%	35.0%	34.7%	30.9%	26.7%	26.2%	25.0%	37.8%	42.9%	30.8%	30.7%	31.0%	29.2%	29.2%
あまり意識していない	35.0%	55.0%	36.7%	53.7%	43.3%	54.2%	44.4%	45.9%	28.6%	46.2%	39.9%	51.0%	36.5%	56.2%
まったく意識していない	45.0%	10.0%	26.0%	11.4%	20.0%	13.1%	22.2%	8.1%	7.1%	0.0%	23.9%	11.4%	28.5%	10.1%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%

n=40 n=20 n=150 n=123 n=60 n=107 n=36 n=37 n=14 n=13 n=163 n=210 n=137 n=89

前回は90%以上の主婦が知っていた「山内一豊の妻」

最近の主婦の3人に1人は「山内一豊の妻」をまったく知らない 20代では3人に2人が「知らない」

内助の功の鑑とも言われる「山内一豊の妻」の最近の主婦の知名度は、「詳しく知っている」「漠然と知っている」を合わせた“知っている”が66. 6%と前回調査時の 92.7%から大きく減少し、「まったく知らない」が33. 3%(前回 7.0%)と、3人に1人の主婦は「山内一豊の妻」まったく知らない」と答えています。特に20代では65%の主婦が知らないと答えています。

やまのうちかずとよ

【山内一豊の妻】

山内一豊は安土桃山時代の武将、土佐藩祖。

織田信長、豊臣秀吉に仕え、秀吉没後、徳川家康に仕え、関ヶ原の戦の功で土佐20万石を賜る。

その妻(近江・浅井氏の臣の娘)は織田信長の出陣に際し、黄金十両を出して一豊に名馬を買わせ、夫の立身の基礎を作った。

Q. 「山内一豊の妻」の話を知っていますか

	今 回		前 回(1987 年)	
	回答数	%	回答数	%
詳しく知っている	43	14. 3%	77	25. 7%
漠然と知っている	157	52. 3%	201	67. 0%
まったく知らない	100	33. 3%	21	7. 0%
無回答	0	0. 0%	1	0. 3%

共に n=300

	20代		30代		40代		50代		60代以上	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回
詳しく知っている	2.5%	5.0%	7.3%	15.4%	23.3%	27.1%	27.8%	45.9%	50.0%	84.6%
漠然と知っている	32.5%	50.0%	51.3%	75.6%	60.0%	71.0%	69.4%	54.1%	42.9%	15.4%
まったく知らない	65.0%	45.0%	41.3%	8.1%	16.7%	1.9%	2.8%	0.0%	7.1%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	n=40	n=20	n=150	n=123	n=60	n=107	n=36	n=37	n=14	n=13

前回は「内助の功」という言葉が「好き」39%、「嫌い」13.7%

最近の主婦においては「内助の功」という言葉に関し 「好き」が27.7%に減り、「嫌い」が18.0%に増える

「内助の功」という言葉についてどんな感じを持っているか聞いたところ、「好き」「どちらかというと好き」が合わせて27.7%（前回39.0%）、「嫌い」「どちらかというと嫌い」が18.0%（前回13.7%）と、前回の調査時より好感度が低くなっています。しかしながら、大半の主婦は「特にどんな感じも持っていない」が54.3%（前回47.0%）と無関心ようです。

Q. 「内助の功」という言葉についてどんな感じを持っていますか

	今 回		前 回(1987 年)	
	回答数	%	回答数	%
好きな言葉	10	3.3%	10	3.3%
どちらかというと好きな言葉	73	24.3%	107	35.7%
嫌いな言葉	14	4.7%	5	1.7%
どちらかというと嫌いな言葉	40	13.3%	36	12.0%
特にどんな感じも持っていない	163	54.3%	141	47.0%
無回答	0	0.0%	1	0.3%

共にn=300

クロス集計(年代別、就業別)

	20代		30代		40代		50代		60代以上		専業主婦		有職主婦 (パートを含む)	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回
好きな言葉	0.0%	5.0%	1.3%	4.1%	6.7%	2.8%	5.6%	2.7%	14.3%	0.0%	3.7%	3.8%	2.9%	2.2%
どちらかというと好きな言葉	5.0%	30.0%	22.0%	30.1%	33.3%	33.6%	36.1%	56.8%	35.7%	53.8%	23.9%	35.2%	24.8%	37.1%
嫌いな言葉	2.5%	0.0%	2.7%	1.6%	5.0%	2.8%	13.9%	0.0%	7.1%	0.0%	1.2%	1.0%	8.8%	3.4%
どちらかというと嫌いな言葉	20.0%	10.0%	17.3%	12.2%	3.3%	11.2%	8.3%	13.5%	7.1%	15.4%	13.5%	11.9%	13.1%	12.4%
特にどんな感じも持っていない	72.5%	55.0%	56.7%	52.0%	51.7%	48.6%	36.1%	27.0%	35.7%	30.8%	57.7%	47.6%	50.4%	44.9%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%

n=40 n=20 n=150 n=123 n=60 n=107 n=36 n=37 n=14 n=13 n=163 n=210 n=137 n=89

「内助の功」を妻として当然とする“肯定派”は 50%から34%に、 “否定派”は33. 3%に倍増と、肯定派/否定派が拮抗

前回の調査では「内助の功」を妻として当然とする「肯定派」が半数だったのに対し、今回は34. 0%と減少しています。反対に“内助の功には封建的なニュアンスがある”や“今や古い価値観がある”とする「否定派」は33. 3%と、前回の 15.0%から倍増しています。「無関心派」は2割前後と変わりませんが、肯定と否定する気持ちの間で揺れ動いている主婦は 15.7%から10. 7%となっています。

年代別では20代、30代と若い主婦が否定的。仕事を持たない専業主婦の間でも、前回調査で半数を超えていた「肯定派」が35. 0%に大きく減っています。

	今 回		前 回(1987 年)	
	回答数	%	回答数	%
肯定派	102	34. 0%	150	50. 0%
否定派	100	33. 3%	45	15. 0%
肯定・否定の気持ちが同居する 揺れ動き派	32	10. 7%	47	15. 7%
無関心派	61	20. 3%	56	18. 7%
無回答	5	1. 7%	2	0. 7%

共にn=300

クロス集計(年代別、就業別)

	20代		30代		40代		50代		60代以上		専業主婦		有職主婦 (パートを含む)	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回
肯定派	22.5%	55.0%	30.7%	45.5%	43.3%	51.4%	33.3%	56.8%	64.3%	53.8%	35.0%	54.8%	32.8%	39.3%
否定派	32.5%	10.0%	36.7%	17.9%	28.3%	14.0%	33.3%	10.8%	21.4%	15.4%	33.1%	14.8%	33.6%	15.7%
肯定・否定の気 持ちが同居する 揺れ動き派	7.5%	20.0%	12.7%	15.5%	10.0%	15.9%	11.1%	13.5%	0.0%	30.8%	8.0%	11.9%	13.9%	24.7%
無関心派	37.5%	15.0%	16.7%	20.3%	18.3%	17.8%	22.2%	16.2%	14.3%	0.0%	21.5%	18.1%	19.0%	19.1%
無回答	0.0%	0.0%	3.3%	0.8%	0.0%	0.9%	0.0%	2.7%	0.0%	0.0%	2.5%	0.5%	1.3%	1.1%

n=40 n=20 n=150 n=123 n=60 n=107 n=36 n=37 n=14 n=13 n=163 n=210 n=137 n=89

最近の主婦が考える「内助の功」は、「家事をやっていること」！？

あなたが夫にしていることで「これが内助の功」だと言えるものが「ある」と回答した主婦(46人)に、どんなことが聞いたところ、「家事全般をやっていること」が38.5%と最も多い答えでした。前回の調査での同様の回答は4.3%(9位)と少数で、「内助の功」に対する考え方がかなり変わってきていることがわかります。

前回よりポイントが上がっているのは「安らぎを覚えるような家庭の雰囲気づくり」「家計のやりくり」「夫の健康管理」「夫の愚痴、悩みの聞き役」などで、停滞する景気や、雇用を取り巻く厳しい諸環境も要因と思われる。

また、「夫の会社の人との交流、接待」が21.7%から7.7%と大きく減っているのも特徴的で、リストラなどで終身雇用制度が崩壊しつつある背景や、“会社第一”という考え方から、徐々に家庭や個人を大事にする傾向が強まっていることが覗えます。

(複数回答)

		今 回	前回との比較	前回 (○内は前回順位)
①	家事全般をやっていること	38.5%	34.2ポイント up	⑨ 4.3%
②	安らぎを覚えるような家庭の雰囲気づくり	25.6%	6.0ポイント up	③ 19.6%
③	何の心配もなく仕事に打ち込める環境づくり	23.1%	3.0ポイント down	① 26.1%
	家計のやりくり	23.1%	5.7ポイント up	④ 17.4%
⑤	夫の健康管理	20.5%	5.3ポイント up	⑤ 15.2%
⑥	夫を立てる	17.9%	11.4ポイント up	⑧ 6.5%
⑦	夫の愚痴、悩みの聞き役	12.8%	10.6ポイント up	⑩ 2.2%
⑧	夫の精神的な支えになる	10.3%	2.7ポイント down	⑥ 13.0%
⑨	夫の会社の人との交流、接待	7.7%	14.0ポイント down	② 21.7%
⑩	無事を祈る	5.1%	2.9ポイント up	⑩ 2.2%
	その他	10.3%		

夫は妻の「内助の功」に「感謝していると思う」24.7%、 「内助の功などと思っていない」21.7%

今回、夫に対してしている内助の功について、ご主人はどう評価されていると思うか聞いたところ、「感謝している」が24.7%、「当然だと思っている」16.0%。また、「内助の功などと思っていない」が21.7%でした。

	今 回	
	回答数	%
感謝していると思う	74	24.7%
当然だと思っている	48	16.0%
内助の功などと思っていない	65	21.7%
わからない	105	35.0%
その他	4	1.3%
無回答	4	1.3%

n=300 (前回非調査)

クロス集計(年代別、就業別)

	20代	30代	40代	50代	60代 以上	専業主婦	有職主婦 (パートを含む)
感謝していると思う	20.0%	22.7%	25.0%	27.8%	50.0%	23.9%	25.5%
当然だと思っている	15.0%	12.7%	23.3%	19.4%	14.3%	12.9%	19.7%
内助の功などと思っていない	17.5%	23.3%	21.7%	19.4%	21.4%	22.1%	21.2%
わからない	47.5%	38.0%	25.0%	33.3%	14.3%	38.7%	30.7%
その他	0.0%	2.0%	1.7%	0.0%	0.0%	0.6%	2.2%
無回答	0.0%	1.3%	3.3%	0.0%	0.0%	1.8%	0.7%
	n=40	n=150	n=60	n=36	n=14	n=163	n=137

調査の実施概要

1. 調査対象 働いている夫を持つ主婦
2. 実施時期 2004 年7月
3. 調査方法 調査員による留置法
4. 有効回収数 300サンプル
5. 調査地域 首都圏（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県）

①専業と有職主婦の割合

専業主婦	54.3%
有職（パートを含む）主婦	45.7%

②回答者（主婦）の年齢

20代	13.3%
30代	50.0%
40代	20.0%
50代	12.0%
60代以上	4.7%

③居住地

東京都	62.7%
神奈川県	21.3%
埼玉県	1.0%
千葉県	15.0%

④ご主人の年齢

20代	8.0%
30代	42.3%
40代	27.3%
50代	15.0%
60代以上	7.3%

⑤ご主人の職業

会社員	65.7%
公務員	11.7%
自営業	16.3%
自由業	2.7%
その他	3.7%

⑥結婚年数

～1年	3.3%
2～3年	8.3%
4～5年	12.3%
6～10年	31.0%
11～15年	18.0%
16～20年	7.7%
21～25年	6.3%
26～30年	6.0%
31年以上	7.0%
無回答	0.0%

⑦家族の人数

2人家族	17.7%
3人家族	29.7%
4人家族	36.7%
5人家族	12.3%
6人家族	3.3%
7人以上家族	0.3%

⑧子供の人数

子供1人	31.3%
子供2人	41.7%
子供3人	13.0%
子供4人	1.3%
子供5人以上	0.0%
子供なし	12.7%

以 上